

天ヶ瀬ダム再開発事業概要

- ・ 治水、利水の目的を達成するため、「トンネル式放流設備」を建設します。
- ・ ダムの放流機能を高めることで、ダム湖の水をより効率的に使えるようにします。

■ トンネル式放流設備の建設（放流能力の増強）

□ 既存施設である天ヶ瀬ダムにトンネル式放流設備を新設することにより、治水・利水の機能を増強します。

天ヶ瀬ダム流域図



■ 天ヶ瀬ダム再開発事業の経緯



- 昭和28年(1953年) 台風13号により甚大な被害を受ける
- 昭和29年(1954年) 淀川水系改修基本計画決定
- 昭和39年(1964年) 天ヶ瀬ダム完成
- 昭和40年(1965年) 台風24号等における洪水により甚大な被害を受ける
- 昭和44年(1969年) 京都府営水道より0.6m³/sの増量申請
- 昭和46年(1971年) 淀川水系工事実施基本計画の改訂
- 昭和47年(1972年) 関西電力(株)より夏期の増加申請
- 昭和50年(1975年) 予備調査着手
- 平成元年(1989年) 建設事業着手
- 平成7年(1995年) 基本計画策定(建設省告示第996号)
- 平成9年(1997年) 河川法改正
- 平成10年(1998年) 工事用道路着手
- 平成19年(2007年) 淀川水系河川整備基本方針策定
- 平成21年(2009年) 淀川水系河川整備計画策定
- 平成25年(2013年) トンネル本体工事着手
- 令和3年度(2021年度) 天ヶ瀬ダム再開発事業完成予定